

「アントロポゾフィー医学から見た青年期の精神疾患」 ～自我のつまずきと回復～

子どもの心魂の発達には7年ごとの周期があります。
7歳までは意志の基礎が、14歳までは感情の基礎が、21歳までは思考の基礎が発達します。これらの時期に体験したことは心身に浸透し、後の人生において支えとなる骨格のようなものになります。しかし、この時期にその人の心魂にとって過酷な体験をして、周囲の大人のサポートが不十分だったりうまく乗り越えることができないことがあります。その場合、自分の人生を社会の中に位置づけることが難しくなり、摂食障害や依存症、社会的引きこもりにつながる場合があります。乗り越えられなかった痛みを苦しんでいる人たちに、どのようなサポートが可能か、講座の中で考えていきたいと思えます。(塚原 美穂子)



塚原 美穂子(つかはら みほこ)
精神科医、精神保健指定医。
1999年千葉大学卒。アルコール依存症治療、一般精神科臨床、企業での産業医学などに従事。合わせて東洋医学、アントロポゾフィー医学を学ぶ。2016年アントロポゾフィー医学認定医取得。

2018年2月4日 [日曜日] 10:00～16:00

会場 | 大倉山記念館 ホール

参加費 | 3,500円

(本講座の主催・後援団体の会員は 3,000円)

定員 | 50名(申込先着順)

申込締め切り | 1月26日(金)

この講座は、アントロポゾフィー芸術療法を学ぼうとする方々、関心のある方々のために、オーディオパーデ/シュタイナー音楽療法研究会が開催しています。
午後は音楽療法の研究及び症例についてディスカッションしていきます。
どなたでもご参加いただけます。学ぶ志しをもった方のご参加を歓迎いたします。

▶ 10:00 ~

医学講義

◎ 「アントロポゾフィー医学から見た青年期の精神疾患」～自我のつまずきと回復～

講師 | 塚原 美穂子(精神科医)

▶ 13:30 ~

症例検討

◎ 「からだところ」～私の中のすみかを見つけるために～

..... 堀川 佳代(アントロポゾフィー音楽療法士)

成長期、自分の意思とは裏腹に変わっていくからだ、それを受け止めることに戸惑うところ。音楽療法はどのような助けができるのでしょうか。ある症例について皆さんと考えてみたいと思います。

▶ 15:00 ~

音楽体験

◎ 「メロディーと音程の体験」

..... 奎野 芝麻(アントロポゾフィー音楽療法士)

メロディーは抑揚、音調、音程を伴っており、音楽の大切な要素のひとつです。今回は12月の講座に引き続き、歌ったり、楽器を用いながら、メロディーと音程についての学びを深めていきたいと思えます。

「アントロポゾフィー医学から見た青年期の精神疾患」 ～自我のつまずきと回復～

講師 | 塚原美穂子 (精神科医)

2018年2月4日[日] 10:00~16:00

会場 | 大倉山記念館 ホール

▶ **参加費**

3,500円 (本講座の主催・後援団体の会員は 3,000円)

▶ **定員 | 50名 (申込先着順)**

▶ **申込締め切り | 1月26日(金)**

▶ **申込み**

住所・氏名・電話番号・一般または本講座の主催・後援団体の会員である事を記載して、一般社団法人アウディオペーデ事務局までご連絡ください。間違いを避けるためにできるだけメールかFAXにてお申し込みのうえ、ご入金をお願いいたします。いずれの方法も難しい方のみ電話にてお受けし、折り返しご案内致します。なお、入金の確認をもって申し込みといたします。入金後の返金はできませんが、代理参加は可能です。

▶ **支払い方法**

① ゆうちよからの振り込み 記号：00220-2 番号：101127

② 他銀行からの振り込み ゆうちよ銀行 店番：0二九(ゼロニイキュウ)

当座預金 口座番号：0101127

口座名義：一般社団法人アウディオペーデ

▶ **問い合わせ**

一般社団法人アウディオペーデ事務局
セラピーハウスつきみ野第一

〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野 3-31-13

Tel.046-240-9117 Fax 046-240-9118

e-mail : audio-pd@nifty.com

HP : <http://audio-pade.com/>

▶ **主催**

一般社団法人アウディオペーデ シュタイナー音楽療法研究会

▶ **後援**

アントロポゾフィー音楽療法士の会

一般社団法人 日本アントロポゾフィー医学の医師会

一般社団法人日本シュタイナー幼児教育協会

NPO法人日本ホリスティック医学協会

教育・芸術・医療でつなぐ会

▶ **協力**

大倉山記念館

大倉山記念館は、大倉邦彦(1882-1971)により昭和7年(1932)

「大倉精神文化研究所」の本館として創建されました。

設計は、古典主義建築の第一人者、長野宇平治(1867-1937)です。

東西文化が溶け合った独特の様式美を持つこの建造物は、昭和56年(1981)横浜市が寄贈を受け、平成3年(1991)には横浜市指定有形文化財に指定されました。(HPより抜粋)

2月4日の講座は
日本音楽療法学会の認定を
得て、参加証の発行を
しています。



大倉山記念館

〒222-0037

横浜市港北区大倉山二丁目10番1号

TEL : 045-544-1881

FAX : 045-544-1084

開館時間 : 9:00~22:00

◎ **電車でお越しの方へ**

東急東横線「大倉山駅」より徒歩7分
(駅とKFCの間の坂道を渋谷方向に上る)

◎ **車をご利用の方**

一般駐車場はございません。